

議会だより

ひだか

第184号

令和8年1月23日



忘れない 日々の感謝と 思いやり



三十歳を祝う式典

| | | |
|----------------|---------|------|
| 小浦地区に大型合併浄化槽設置 | 補正予算 | 2～3 |
| 第4学童保育所開設へ | 条例改正 | 4 |
| 町長選挙出馬の意思は | 一般質問 | 5～8 |
| 福島県の風力発電 | 委員会レポート | 9～10 |

1 2 月 定 例 会

令和7年第4回定例会は12月10日から18日までの9日間の会期で開催した。

今定例会では、令和7年度補正予算・条例など議案10件、発議1件が提案され、慎重審議の結果、原案の通り可決した。

令和7年度一般会計補正予算

既定の予算額に587万6千円を追加し、総額61億867万3千円とする。

－ 主な内容（歳出） －

- ・ 温泉館水中ポンプ取り替え工事 440万円
- ・ 町民プール修繕費 355万円
- ・ 学校給食材料費 405万1千円

温泉館水中ポンプ取り替え工事

問 温泉館の水中ポンプ取り替え工事、この時期での補正となった理由は。

企画まちづくり課長 温泉館の水中ポンプ取り替え工事は2年ごとに実施しており、今回の工事では3回目のオーバーホールを予定し、予算を計上していた。

水中ポンプ引上げ後、分解調査をしたところ、3回目ということで劣化が激しく、オーバーホール不能との結果が出たため、新品ポンプの購入が必要となり、オーバーホールと新品のポンプ購入の差額を追加計上した。



「みちしおの湯」の源泉施設

町民プール修繕費

問 町民プール修繕費の詳細説明を。

教育課長 プール内の濾過装置の中の濾材がどこからか漏れて、プールの中に入ってしまう状態が発生した。

濾材の入れ替えも含め、修繕を行う。

また、保健所の定期検査の結果、計器での処理水量の管理が必要という指導を受けたため、流量計の設置も、あわせて予算計上した。



町民プールの濾過装置を修繕

ガバメントクラウド利用料減額

問 電算使用料の減額について説明を。

総務課長 自治体情報システムの標準化に伴ない、当町においても、令和7年9月から19業務についてガバメントクラウドに移行し運用する予定であった。

しかし、ベンダー内の体制などの関係で移行を延期することになったため。

人材紹介手数料

問 学校給食費人材紹介手数料の詳細説明を。

教育課長 栄養士が産前産後休暇に入る予定で、会計年度任用職員の募集をしたが、該当者が見つからない状況である。

このため、人材紹介会社に登録されている栄養士の紹介を受けることとし、手数料として104万1千円を計上した。

農村環境改善センター修繕費

問 増額の詳細説明を。

産業建設課長 バasketゴールの修繕、雨漏りの調査、自家発電機のバッテリー交換など、修繕費の合計が108万7千円となり、不足分の50万2千円について追加計上した。



修繕が必要なバスケットゴール

学校給食材料費

問 増額の詳細説明を。

教育課長 当初、少し予算を抑えて計上していた。年2回、入札によって業者を決めているお米が、特に物価高の影響を受けている。

想定以上に価格が高騰したため、予算が足りなくなった分を今回、追加計上した。



高値が続く米価

下水道事業会計補正予算

小浦地区汚水処理施設を合併浄化槽に

－1億1千万円を追加－

問 設備を替えるメリットについて説明を。

上下水道課長 小浦地区の人口減少により、汚水流入量が当初の計画量よりも減少しているため、平成30年度に策定した機能保全計画を再検討する必要がある。

令和6年度に、施設のダウンサイジング、大型浄化槽の設置、比井処理場への合併を比較検討した。その結果、大型浄化槽が、工事費及び維持管理費が最も安くなることから、予算計上した。早期完成を目指す。



現在の小浦地区汚水処理施設

◆◆◆◆◆ 条例改正 ◆◆◆◆◆

日高町学童保育所設置条例

内原小学校内に第4日高町子どもクラブを設置するもの



工事が完了した第4日高町子どもクラブ

問 内原小学校増築校舎の2階を利用するということが、管理責任はどうなるのか。

教育課長 放課後の時間だけタイムシェアという形になる。

管理の基本は学校となるが、学童保育所で開設している時間帯は、委託業者に責任を持ってもらい、お互いに協力をする形になる。

職員の給与に関する条例

人事院勧告に基づき俸給月額と期末勤勉手当を引き上げるもの

問 予算面ではどうなっているか。

総務課長 予算では、一般職及び暫定再任用職員93名、給料で1,208万7千円、期末勤勉手当で636万5千円、会計年度任用職員32名、給料・報酬で115万5千円、期末手当で43万1千円の増額となる予定である。

… 第2回臨時会 …

令和7年10月21日に臨時会が行われ、議案3件が提案され、慎重審議の結果、原案通り可決した。

工事請負契約

比井消防車庫設置工事

- ・ 契約の相手先：株式会社 古部組
- ・ 落札価格：5,838万1,400円
- ・ 落札率：92%
- ・ 工期：令和8年3月31日

田杭漁港D防波堤設置（その1）工事

- ・ 契約の相手先：株式会社 中村建設
- ・ 契約金額
 - 変更前：1億5,994万円
 - 変更後：2億326万4,600円
- ・ 工期：変更なし



阿尾漁港で製作している消波ブロック

問 増額になった経緯、理由は。

産業建設課長 現在借りているヤードのすぐ隣で、空いた土地を借りられることになり、一度に製作できるブロックの数を増やし、事業の進捗を図るために増額変更した。

いがき わたる
井垣 弥 議員



町長選挙への出馬の意思は 町長 出馬をする

井垣 松本町政の3期目も、残すところ5カ月足らずとなってきた。就任より誠実と実行をモットーとして町政推進に取り組んできたと思う。

いろいろと実績を残してきたと認めるところだが、まだ町長としてやり残したことや町民のためにやっていきたいことがあるのではないかと考える。

そこで、令和8年5月10日の任期を目前にして、4期目の町政を担う覚悟があるのか町長選への出馬の意思、決意をお伺いしたい。

町長 3期目就任から、今日まで職員と共に誠実に精一杯、町民のため、町政に取り組んでくることが出来たと思う。

4期目の町政を担う覚悟があるのかとの質問ですが、次期町長選に立候補することについては、前向きに考えているところであり、新たな気持ちで挑戦していきたいと考えている。

今後も、町民の声を聞きながら、町民の皆さま、議会の皆さまのご協力をいただきながら、信念と情熱を持って、一つずつ着実に町づくりを進めていきたいと考えている。

井垣 就任より誠実と実行をモットーに、この誠実は100点満点と私は評価している。

実行は100点ではないと考える。だから実行をもう少しがんばっていただきたいと思っているが、町長いかがか。

町長 今は物価高騰のなかで資材も高くなっている。そういうなかでスピード感を持って実行して進めて行くべきだと思っているが、

予算もある程度考慮しながら進めていかなければならない。今後は出来る限り少なくなるようにして取り組んでいきたいと思っている。

井垣 令和8年町長・町議補欠選挙の日程が決まった。告示が4月21日、投開票が4月26日である。新聞で報道されたわけだが、これを機に、期するものがあると思われる。この場で正式に出馬表明してはいかがか。

町長 出馬の態度について、はっきりさせなければならぬと、この3日間、熟慮に熟慮を重ねてきた。

本日この場において、令和8年4月21日告示の、次期町長選挙出馬について、正式に出馬表明をさせていただきたい。

これまでの経験を活かして新たな気持ちで町民のため、町政の発展のため、全力で課題解決に向け取り組んでまいりたい。



4期目への出馬を表明した松本町長



しみず かずひと
清水 和人 議員

「緊急銃猟」の備えは 町長 実施体制を早急に整備したい

清水 秋田県や岩手県など東北地方を中心に、クマによる人的被害が毎日のように報道されている。

国は、人的被害を生じさせるクマやイノシシが人の生活圏に侵入した場合、緊急的に市町村長の判断で緊急銃猟をおこなうことができる制度を創設した。

環境省と紀伊半島の3県（和歌山・奈良・三重）が、令和6年度にツキノワグマ生息数調査を行い、467頭と推定した。

従来400頭以下は保護対象として環境省のガイドラインで示されていたが、これを超える結果となり、管理政策に切り替えると発表されたところである。

当町としても、クマの目撃情報が寄せられたばかりである。緊急銃猟に対する備えが必要ではないか。

町長 当町においても、国が示すガイドラインに沿って緊急銃猟対応マニュアルの作成にとりかかっている段階である。

清水 対応マニュアル作成の基本は、環境省のガイドラインに沿って進めることと思うが、当町として、いつ頃までに完成させる予定か。

町長 マニュアルを作成し、緊急銃猟が実施できる体制を早急に整備していきたい。

清水 町として、猟友会との交渉は、どこまですすんでいるのか。

産業建設課長 猟友会と連絡をとりながら、緊急銃猟の必要性について、理解してもらっている。



当町でもクマの目撃情報が

町長 猟友会に対する駆除費用については、県内の市町村や、近隣の市町の動向を見ながら検討していく。

また、通常の銃猟ではなく人の生活圏での対応となるため、細心の注意が必要であり、大きな負担が生じると思われる。こうした負担も考慮しながら、費用について検討していきたい。

清水 箱わなや、くくりわなを行っている人がクマを捕獲した場合、どのように対応をすれば良いのか。

町長 県への捕獲許可の手続きを行い駆除することができる。

清水 1日も早く体制づくりを完成させ、住民の安全を確保できるよう願います。

やまなか まさつぐ
山中 雅嗣 議員



日高町の地域振興は 町長 しっかり取り組んでいきたい

山中 観光・交流資源の充実と活用は日高町の交流人口と関係人口を増やすためにも、重要であると考えている。

海と山に囲まれた日高町ならではの観光・交流資源の充実が、所得向上のためにも必要であると思うが、受け入れ体制の現状を町長はどう評価しているのか。

町長 日帰り観光客は増えているが、宿泊者数では、若干減少している。当町で滞在時間を伸ばすこと、受け入れ態勢を充実することで宿泊者数の増に繋げる必要があると分析している。

山中 日高町のどこに魅力を感じ、また何を求めて来ているのか、ニーズは把握しているのか。

町長 風光明媚な景観や海岸、アサギマダラの飛来地である西山、熊野古道などの自然豊かな日高町ならではの観光資源。季節では夏はハモ、冬は天然クエを食すことを目的に、来町する方が多いものと考えている。



昨年のうぶゆいちば

地域振興とは

地域が持つ特性を生かし、住民の生活環境を整え地域の魅力を引き出し持続可能な発展を目指すもので、自治体が中心となり関係機関などと協力して進めるもの

山中 日高町へ来たら「これ買って帰る」「これ食べて帰る」というお店が、日高町でも必要であると考えているが町長はどう思うか。

町長 日高町に来ておいしいものを食べ、みちしおの湯でゆっくりし、食事をしてもらう。そういう場所はあるが、海岸線に所々あれば皆さんに来てもらえると考えている。

山中 地域の魅力を効率よく発信し楽しんでもらうこと、観光客数を増やすことで、交流人口を増やし、さらに関係人口を増やすことが、生産事業者の所得向上に繋がり地域全体の活力になると感じる。

地域振興は日高町の活力のもとである。日高町の発展のためにも、しっかりと取り組んでもらいたい。

町長 海岸線のすばらしい景色や熊野古道。熊野古道でも、鹿ヶ瀬峠や海からの熊野古道の切通しなど色んな資源がある。

そういった所もPRしていき、日高町へ来てもらいたいと思っている。

日高町に来て良かったと感じて貰えるように、しっかりと取り組んでいきたい。



にしおか かなこ
西岡 佳奈子 議員

新白馬風力発電計画に反対を 町長 調査結果に基づき慎重に対応



内原保育所から計画地を臨む

西岡 地元地区に対して、4月に事業者から進捗状況の報告と推進の方針が示された。その後9月に「JR東日本開発株式会社が事業から撤退し、株式会社きんでんが事業を継承して進める」との住民説明会がおこなわれた。

そのわずか2か月後に、今度はテレビ電波への影響により萩原地区での計画断念など、町内での計画の大幅縮小の報告が届いた。これまで町に対して報告が行われてきたのか。

町長 11月14日に初めて聞いた。

西岡 報告では、令和5年2月頃から近畿総合通信局などと、令和6年2月頃には四国総合通信局などと協議を始めたとある。これまで、町や住民に対して調査や協議について報告はなかった。不誠実な対応ではないか。

町長 私たちも驚いた。住民にはしっかり丁寧説明することを求めた。

西岡 テレビ塔より東側、原谷の山の尾根で設置と仮定すると、内原保育所まで約2 km。1.5 kmから2 km以内に多くの住家がある。また、原谷地区全域が3 km圏内、萩原・内の畑地区も3 km圏内に入る。

町長として総合的な判断をし、反対の姿勢を示していただきたい。

町長 調査結果に基づき慎重に対応したい。町民の健康や生活に影響を与えることがあってはならないという考えに変わりはない。

ひだか病院の安定的経営のために

西岡 管内1市5町で運営するひだか病院が厳しい経営状況にある。令和6年度事業会計決算では11億4千万円の赤字。本年度当初予算も赤字での計上となっている。

御坊保健医療圏の中核病院であり、災害拠点病院でもあるひだか病院の安定的な経営は、住民の命と健康を守るためにも必要不可欠。

構成団体としての支援や提案とともに、国に対する意見・要望をあげるべきと考えるがどうか。

町長 現在、経営アドバイザーの支援を受け、経営改善・強化に取り組んでいる。また、政府・関係省庁に診療報酬改定、緊急的財政支援を要望したところである。

運営について、構成市町の首長による開設者会を定期的に開催し、情報共有と意思疎通を図っている。運営について必要な要請を行うとともに、必要な時に必要な支援をしていきたい。

委員会レポート

総務福祉常任委員会・産業教育常任委員会

国内最大級の風力発電施設 福島県川内村

総務福祉常任委員会・産業教育常任委員会は合同で、福島県双葉郡川内村の風力発電施設について視察・研修を行った。

川内村は東京電力福島第1原子力発電所の事故により避難を余儀なくされた村民の、約2割が未だに戻れない状況にあり、極端な少子高齢化が進み、医療・福祉・介護など多方面で資源が不足しているとのことであった。

そんな中、福島県が再エネ事業を推し進めており、村においても県の方針に基づき、再エネ事業の普及に取り組んでいる。

県が推進していることもあり、村を取り囲むように多くの風力発電施設が建設されており、今回、現地を視察したものは本年2月に発電を開始したもので、風車の羽の直径が120m、羽を含む高さは約150mで、陸上風力発電設備としては最大級のものである。



陸上では最大級の風力発電施設



村を取り囲んで設置されている風力発電施設

委員からは、騒音被害や低周波による健康被害、自然環境への影響などについて質疑があった。

騒音被害については技術的な進歩により、従来のもものと比較して大幅に騒音を抑えられているとのことであった。実際に風車の直下で現地説明を受けたが、通常の音量で会話ができる状況であった。

また、低周波による健康被害を心配する声はあるが、実際に被害を訴えられたことは無く、住民からの建設反対の運動も無かったとの説明を受けた。

自然環境への影響は、現在のところ状況に変化は見受けられないが、今後も監視を続けていくとのことであった。

村には発電設備の固定資産税が入るほか、村と電力事業者との間で協定を結び、村内で開催されるイベントへの協賛や、ボランティア活動への参加、売電収入からの寄付金、無料のバスの運行などの地域貢献を受けている。

財政状況が厳しい当町においては、固定資産税の増収や各種イベントへの協力など地元貢献が期待されるが、反面、自然環境への影響や低周波による健康被害も懸念されるため、慎重かつ丁寧な説明や対応が必要であると感じた。

委員会レポート

総務福祉常任委員会

空き家対策

空き家対策について田辺市を訪れ、行政視察を行った。

田辺市は総面積が広く、地域によって空き家の状況や課題が多少異なるものの、日高町と同様に、津波浸水エリアや車両の進入が困難な狭い道路に面した土地に空き家が集中しているとのことであった。

空き家の発生要因としては、所有者の経済的な理由や、所有者・相続人が高齢、遠方に住んでいるなど、当町と同じような事情が挙げられていた。

田辺市では、こうした課題に対応するために「対策業者紹介制度」を設けており、解体などの専門業者を紹介するほか、空き家所有



田辺市の取り組みを聴く



急がれる空き家対策

者と業者・購入希望者との間に入って調整を行うなど、行政がコンシェルジュ的な役割を果たしているとの説明を受けた。

行政が調整役として関わることで、空き家解消の第一歩となる相談がしやすくなっている点が印象的であった。

また、直接的な解体支援や補助に加えて、相談や仲介、情報提供などの“つなぎ役”として、行政が積極的に関与することの必要性を改めて感じた。

また、行政だけでなく、地域住民や不動産業者、専門団体などと連携した仕組みづくりが今後の空き家対策の鍵になると考える。

今後、日高町においても、このような制度や仕組みを参考にしながら、町民と行政が一体となった現実的で持続可能な空き家対策を進めていく必要があると感じた。

編集後記

新年明けましておめでとうございます。

本年もよりよい年でありますよう、心からお祈り申し上げます。

ガソリン暫定税率が昨年末で廃止され、目に見えて価格が安くなりました。生活する上で、自動車がなくはならない日高町では、恩恵を受ける方も多いのではないのでしょうか。

一方で道路の維持管理や、公共サービスに影響がないか不安でもあります。

今年の午年は「躍動・成功・勝負運」を象徴するそうです。

今年は60年に一度の丙午（ひのえうま）で、情熱と行動力で道を切り開き、新しい事に取り組むのに良いみたいです。

山中 雅嗣